

第9回 年次大会のご案内

西田哲学会会員各位

拝啓

初夏の候 会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第9回年次大会を下記の要領で開催いたします。万障お繰り合わせの上、ふるってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

なお恐れ入りますが、同封の葉書にて出欠その他に関する事柄を明記の上、**6月30日(木)**までに、事務局宛てにお送り下さい。

敬具

記

日時 平成 23 年 7 月 16 日(土)～18 日(月・祝) ※詳細は裏面の「プログラム」をご参照ください。

会場 石川県西田幾多郎記念哲学館 (〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地)

交通手段

会場となる西田哲学館は、金沢より20km 北の「かほく市」にあります。その位置および交通手段は、同封の「石川県西田幾多郎記念哲学館」のパンフレットをご参照ください。

なお、宇野気駅から西田哲学館への交通手段は、徒歩(20分)かタクシー(5分)となります。学会開催の三日間は、下記のとおり時間にて大型バス(無料)を用意いたします。時間が合いましたら、ご利用ください(バス発着所は宇野気駅・正面東口となります。席に限りがありますので、満席の際はご容赦ください)。

自家用車でご来館の方は、西田哲学館の駐車場(無料)をご利用いただけます。

	宇野気駅発 ⇒ 哲学館着	哲学館発 ⇒ 宇野気駅着
16日(土)	09:20 → 09:25	17:35 → 17:40
	10:15 → 10:20	17:50 → 17:55
17日(日)	11:30 → 11:35	17:15 → 17:20
18日(月)	13:00 → 13:05	17:30 → 17:35
		17:45 → 17:50

発着時刻は、事情により前後することがあります。

宿泊

宿泊先は、会員の皆様ご自身で手配をお願いいたします。参考までに、かほく市内および金沢駅周辺のホテルを別紙に記載しましたので、よろしければご利用ください。

昼食

西田哲学館の近辺にはあまり飲食店がないので、ご要望の方には昼食弁当(お茶付:700円)を用意させていただきます。同封の葉書に要・不要をご記入ください(代金は当日支払)。

懇親会

懇親会は、16日(土)18時から「さか井や」旅館(宇野気駅正面東口徒歩1分)の大広間にて予定しております。同封の葉書に参加・不参加をご記入ください(参加費:5,000円、当日支払)。

非会員の大会参加・入会

例年通り、非会員も参加費500円にて年次大会に参加することができます。会員の皆さまのお知り合いで興味のある方がいらっしゃいましたら、お誘いあわせのうえぜひおこしてください。また、その際には下記事務局まで事前にお申し込みをお願いいたします(参加費は当日支払)。なお、入会をご希望の方は、当日会場にて手続きをすることができます。

理事会

理事各位におかれましては、初日16日(土)の12時35分より理事会を開きますので、ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

シンポジウム要旨

2日目のシンポジウム「私と汝」の要旨を、西田哲学会 HP(www.nishida-philosophy.org)に、7月10日までに掲載しますので、ご覧ください。

平成23年6月9日 西田哲学会

西田哲学会事務局

担当：大熊玄

(石川県西田幾多郎記念哲学館内)

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1

TEL:076(283)6600, FAX:076(283)6320

E-mail: info@nishida-philosophy.org

西田哲学会 第9回年次大会 プログラム

会場: 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市 内日角井1)

平成 23 年 7 月 16 日 (土)

午前

プレカンファレンス (入門講座) 10:30-12:30

- 1) 『善の研究』をよむ (講読): 講師 米山優 (名古屋大学)・水野友晴 (京都大学)
- 2) 『善の研究』をかたる (講義): 講師 氣多雅子 (京都大学)

午後

理事会 (理事のみ) 12:35-13:25

かほく市長挨拶 13:30-13:35

『善の研究』出版百周年記念・海外報告 13:35-14:25

遊佐道子 (アメリカ・西ワシントン大学) 「アメリカにおける西田哲学と『善の研究』」

休憩 14:25-14:30

『善の研究』出版百周年記念・講演会 1 14:30-16:00

森哲郎 (京都産業大学) 「西田幾多郎の「表現」思想」

『善の研究』出版百周年記念・講演会 2 16:00-17:30

上田閑照 (京都大学名誉教授) 「経験と自覚 — 『善の研究』百周年に際して」

懇親会 18:00-20:00

平成 23 年 7 月 17 日 (日)

午前

研究発表 9:35-12:35

- 1) 太田裕信 (京都大学) 「西田幾多郎におけるハイデガー『存在と時間』— 時間と汝の問題を中心に —」
- 2) 小田桐拓志 (アメリカ・スタンフォード大学) 「二つの自己知の概念 — 「論理と生命」(1936)を中心に」
- 3) 水野友晴 (京都大学) 「地下水脈としての“内在的超越”— 明治日本宗教哲学群像 —」
- 4) メラニー・コックリン Melanie Coughlin (カナダ・マッギル大学)
「西谷のリアルな基準を問う: 西田の宗教批判と対比しつつ」

午後

総会 13:30-13:55

シンポジウム「私と汝」 14:00-17:00

司会：小坂国継（日本大学）

パネラー：片柳榮一（聖学院大学）「一到達点としての「私と汝」 — 人格をめぐる西田の思索」

小野文生（京都大学） 「西田幾多郎とマルティン・ブーバーにおける媒介の論理について
— 時間と言語をめぐる思索の交叉」

ロルフ・エルバーフェルト Rolf Elberfeld（ドイツ・ヒルデスハイム大学）
「争う・応答する・認める・殺す — 私と汝のさまざまな在り方について」

平成 23 年 7 月 18 日（月・祝）

午前

国際哲学交流セッション「『善の研究』をめぐって」 9:35-12:35 （使用言語：英語。日本語資料有り）

司会：遊佐道子（アメリカ・西ワシントン大学）

- 1) ヴァンサン・ジロー Vincent Giraud（フランス・ボルドー第三大学）
「意味（さえも）括弧に入れるのか？ — フッサールの還元の立場から見た西田の純粹経験の概念」
「Bracketing (even) Meaning? Nishida's Concept of Pure Experience from the Standpoint of Husserlian Reduction」
- 2) エンリコ・フォンガロ Enrico Fongaro（南山大学宗教文化研究所）
「ジョットの「オ」（円形） — 『善の研究』イタリア語訳の受容についての考察 —」
「The Giotto's "o" - Some considerations about the reception of the Italian translation of Zen no kenkyu」

休憩 11:05-11:15

- 3) アグスティン・ハシント・ザヴァラ Agustin Jacinto Zavala（メキシコ・ミチョアカン大学）
「「純粹経験に関する断章」と『善の研究』」 「The Fragments concerning Pure Experience and the Zen no kenkyu」

午後

国際哲学交流シンポジウム「生活と芸術」 13:30-17:00 （使用言語：日本語・独語。日本語資料有り）

- 1) ロルフ・エルバーフェルト Rolf Elberfeld（ドイツ・ヒルデスハイム大学）
「書と哲学 — 書道家としての西田幾多郎」
- 2) エバーハルト・オルトランド Eberhard Ortland（ドイツ・ヒルデスハイム大学）
「生き方としての諸芸術」

休憩 15:20-15:30

- 3) 美濃部仁（明治大学） 「茶道における「心」 — 芸術の「深さ」について —」
- 4) 秋富克哉（京都工芸繊維大学）「ハイデッガーの東アジア的芸術との対話から」

討議 16:10-17:00

（※なお、今回の年次大会は、石川県西田幾多郎記念哲学館の「2011 国際哲学交流シンポジウム」との共催事業となります）